追記　日本園芸会雑誌59号（1895，明治27）p. 24 の再録。

「大阪府豊島郡細河村，河村群芳園 会員福井萬右衛門：茶梅(サザンカ)獅子頭 中紅八重中輪にして枝梢傘形をなし，盆栽に適す。」

なお，皆川家のカンツバキが関西方面での獅子頭であるのを知りつつ，あえて採用しなかったのは，国際園芸植物命名規則に合う文献を発見しえなかったことと，ツバキの品種‘獅子頭’との混同を避ける配慮があったのである。　（文京区[redacted]）

□Croasdale, H. & E. A. Flint: **Flora of New Zealand desmids, Vol. II** i-x+147 pp., plates 28-61. 1988　Botany Division, D. S. I. R., Christchurch, New Zealand. NZ$ 57.50.　ニュージーランドの淡水産緑藻ツヅミモ類のフロラの研究が3巻になって刊行されつつある。本書はその第2巻で，*Actinotaenium, Cosmarium, Cosmocladium, Xanthidium, Spinoclosterium*（いずれも Placoderm ツヅミモ類）の5属，計267分類群を扱う。属，種・変種等の検索に続き，すべての種，変種等について異名，特徴，採集地，生育状態，地理的分布等が記述され，さらに顕微鏡観察による線画が図版に描かれる。本文147頁の約2/3は上記の分類についての記述で，残りは採集156地点の名称，地図，生態条件，採集者名，採集年の記述，及び約400の文献と索引等で占められる。採集場所16地点の景観カラー写真17葉は美しく，この道の先達4人 J. Ralfs, W. M. Maskell, C. F. O. Nordstedt, H. L. Skuja の略伝を扱った余白頁の埋草記事は楽しい。ニュージーランドのこの方面の研究が未だ十分でないだけに，本シリーズ刊行の意義は大きい。なお，先に刊行を見た第1巻には *Cylindrocystis, Mesotaenium, Netrium, Roya, Spirotaenia*（以上 Saccoderm ツヅミモ類），*Closterium, Euastrum, Genicularia, Gonatozygon, Micrasterias, Penium, Pleurotaenium, Tetmemorus, Triploceras*（以上 Placcoderm ツヅミモ類）の14属が扱われ，今後刊行の第3巻には *Staurastrum, Staurodesmus, Arthrodesmus*（いずれも Placcoderm ツヅミモ類）の3属が扱われる予定である。著者はいずれも同じであるが，第1巻の出版元は下記のようである。Government Printing Office, Publishing Warehouse, PO Box 14-277, Kilbirnie, Wellington, New Zealand.　（千原光雄）

□中内正夫 ほか(編)：**英語表現べからず辞典** 260 pp. 1986. 南雲堂，東京．¥1,500.　英語を使ったり書いたりするとき，何度調べてもどれが正しいかわからなくなるごく普通の記述法や，何の気なしに使ってしまうあたりまえの単語を，「こういうのはいけない，こういうふうに書きなさい」と，560の単語や例文が各頁に2,3例ずつ示されている。冠詞や前置詞などは同じ単語の異なる用例がいくつも出ていて，論文を書くとき有用である。各例にはかなり詳しい文法上の説明や類例が記されており，ソフトカバーの小型本なので，通勤時の読物としてもたいへんためになる。　（金井弘夫）